#### 〔報告〕

# 基礎理学療法分野の全国学会を本学で開催しました

伊 東 佑 太

2014年11月15日土曜日と16日の日曜日の2 日間、名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学 舎翼館を会場に、第1回 IPTA日本基礎理学 療法学会 学術集会・IPTF 日本基礎理学療法 学会 第4回学術大会 合同学会 (http://jptajptf-congress.jp/) を開催した。本学会は、全 国の理学療法士のうち, 基礎医学研究に関わる 研究者が集まり研鑚してきたJPTF日本基礎理 学療法学会という学術団体と, 日本理学療法士 協会の改組に伴い、その分科学会として誕生し たJPTA日本基礎理学療法学会という学術団体 の記念すべき1回目の合同学会である。筆者は 企画局長として学会準備から当日運営まで関 わった。また、筆者のゼミに所属する学生7名 も運営スタッフとして加わり、当日の円滑な運 営を担った。両日には日本全国から440名(一 般351名, 学生78名) が参加し, クラインホー ルに立ち見が出るほど盛会であった。学外から の参加者からは、「きれいな大学ですね」、「こ んなところで学べるのがうらやましい」とのお 言葉を多くいただいた。

学会はテーマを「基礎理学療法学 一理学療法と科学のインテグレーション一」とした。真に科学的な理学療法学の発展に寄与するため、理学療法効果の根拠となる基礎医学分野の研究

内容をリハビリテーション臨床の従事者たちに わかりやすく伝えることを目的とした。

内容として、第1会場としたクラインホール では(図1), 基調講演, 特別講演, 男女共同 参画企画, 4領域のミニシンポジウムを企画し た。特別講演では、生物学的観点から臨床的観 点までの幅広い観点から、筋萎縮やその予防を 研究されておられる立命館大学の藤田聡先生を お招きし、ご講演いただいた。男女共同参画企 画では,「理学療法士女性研究者の現状と今後 の発展―多様なロールモデル―」というテーマ で、名古屋大学の李佐知子先生、京都大学iPS 細胞研究所の竹中菜々先生、大阪大学の村松里 衣子先生をシンポジストとして迎え, 女性研究 者の視点から研究者の未来について討議した。 このセッションの司会は本学リハビリテーショ ン学部の肥田朋子教授が務めた。ミニシンポジ ウムは、「高齢者の筋機能を科学する」、「運動 イメージの効果とその理学療法への応用」、「足 部の解剖学とバイオメカニクスのインテグレー ション一理学療法の再考」、「理学療法評価学ー 臨床研究と基礎研究のインテグレーション~疾 患特異的評価指標の改定の背景にある基礎研究 ~」の4領域で各々の研究最前線を議論した。 翼館3階302, 303, 304教室は第2, 3, 4会場

## 名古屋学院大学論集



図1 クラインホール;第1会場の様子

#### 基礎理学療法分野の全国学会を本学で開催しました



図2 302・303・304;第2~4会場の様子

として(図2)、一般口述演題の発表を行った。 口述発表は12セッション、計49演題で、これらの会場でも立ち見が出るほどの参加者が詰めかけた。翼館1階のラウンジ(図3)は、一般ポスター演題の発表会場となった。ポスター発表は計39演題で、ここでもまた多くの参加者の熱気に包まれた。著者も1演題発表した。また、1時間の発表時間では収まらないディスカッションは、同会場で開催したレセプションパーティーでも引き続き行った(図4)。レセプションパーティーは名古屋ビルサービス様にご協力いただき、参加者から大好評を得た。そ の他、1階ラウンジでは、アーカイブティップス株式会社様、インターリハ株式会社様、東芝メディカルシステムズ株式会社様、バイオリサーチセンター株式会社様の機器展示、丸善株式会社様のご協力で書籍展示も行った。

本学会がこのような成功裡に終えることができたのも、翼館の各会場の手配や貸出備品の準備にご協力いただいた財務課の白金様、教務課の岩崎様はじめ、多くの名古屋学院大学の方々のご支援のおかげである。ここに感謝申し上げる。

## 名古屋学院大学論集



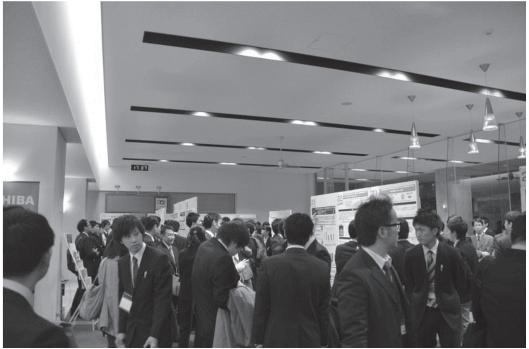


図3 1階ラウンジ;ポスター発表会場の様子



図4 1階ラウンジ;レセプションパーティーの様子